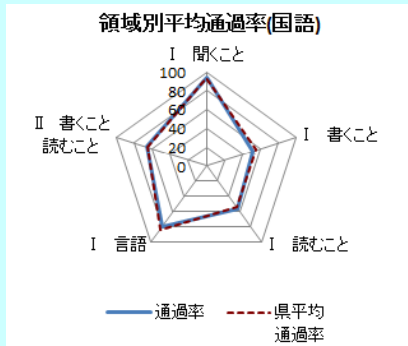


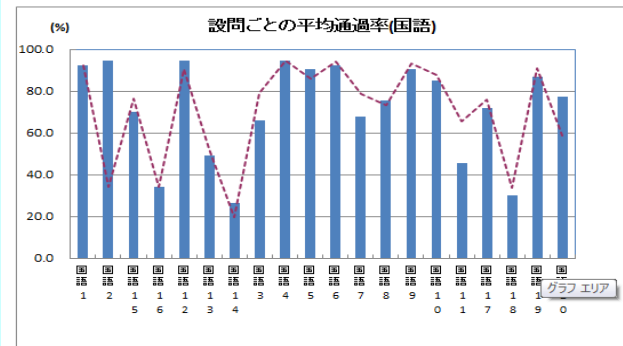
「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 71.7%, 県 73.6%)

対県比 97.4 %

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



学力定着実態調査 本年度正答率

本校 67.6%  
全国 66.8%

対全国比 101.5%

全国学力・学習状況調査 本年度正答率

A問題

本校 76.3 %  
全国 75.3 %  
県 76.5 %

B問題

本校 66.7 %  
全国 65.8 %  
県 67.4 %

本年度の結果について

「基礎・基本」定着状況調査における通過率は、タイプⅠが73.0%、タイプⅡが66.5%であった。また、全国学力・学習状況調査における正答率は、基礎が76.3%、活用が66.7%であった。基礎的な知識は定着しつつあるが、それを踏まえて内容を理解したり、条件に合わせて適切に表現したりする力が十分についていない傾向にある。

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比 100.0%

重点課題

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

- ①問いの意図を理解し、それに対応した内容を本文から読み取る力が低い。問いの意図を理解せず、本文をそのまま抜き出す傾向がある。(通過率 26.4%)
- ②示された例の文章構成に合わせて文章を書いたり、条件に従った適切な文章を書く力が十分でない。(通過率 30.2%)

【課題2】全国学力・学習状況調査

- ③単語の種類を区別することができていなかったり、意味を理解して適切な語句を選択することができていない。(通過率 9 三オ 52.2%, 9 四② 31.3%)
- ④資料や文章の書かれ方に対する自分の考えを書く力が低い。(通過率 2 三 13.4%, 3 三 31.3%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

- ①単元ごとに評価問題を作成・実施し、問いを理解し、問いの内容と対応しているか評価をし合う。的確に読み取る力と自分の解答を点検することを身につけさせる。
- ②条件を確認し、文章を書く機会を増やす。作文出品や、志宣言などに関連させて、目的意識を持って取り組むように指導を行う。添削を行い、条件に沿って書けているか確認を行う。

【課題2】全国学力・学習状況調査

- ③南中タイムを通して文法や慣用句などの言語の知識を定着させる。200 字帳を用いて漢字を毎日練習し、学習した漢字が定着しているかを小テストで確認する。
- ④「読むこと」を中心に各単元で文章の書かれ方に対する考えを交流したり、資料に対する考えを文章に書く学習を行う。その時に、条件を満たして書けるように確認をする方法も身に付けさせる。

「基礎・基本」定着状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生 夏休み明け試験	2年生 中間試験	2年生 基礎・基本不得意問題	2年生 期末試験	1年生 冬休み明け試験	1年生 「基礎基本」過去問	1年生 学年末試験
目標値	35%	40%	40%	①45%②50%	40%	45%	45%
実施後数値	37%						

全国学力・学習状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	3年生 実力試験	3年生 中間試験	3年生 全国学力不得意問題	3年生 期末試験	2年生 冬休み明け試験	2年生 「全国学力」過去問	2年生 学年末試験
目標値	40%	45%	45%	50%	40%	40%	45%
実施後数値	35%						

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 67.4%, 県 70.4%) 対県比 95.7%

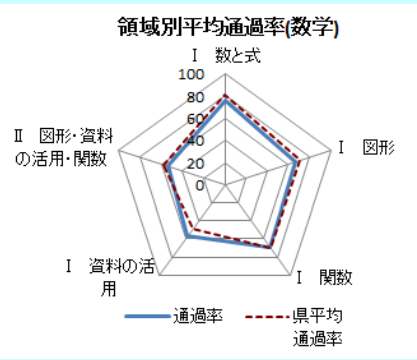
学力定着実態調査 本年度正答率  
 本校 67.4% 対全国比 97.1%  
 全国 69.8%

本年度の結果について  
 基礎基本定着状況調査において、タイプⅠは71.4% (県 74.2%)、タイプⅡは54.0% (県 57.2%) の通過率である。22問中17問県平均を下回っている。この結果から、理解不足の生徒が県平均より若干名多いと考えられる。  
 昨年度は、連立方程式の計算や関数の意味に課題があったが反復練習することにより正答率68.7%、89.6% (全国 56.8%, 81.5%) と向上。

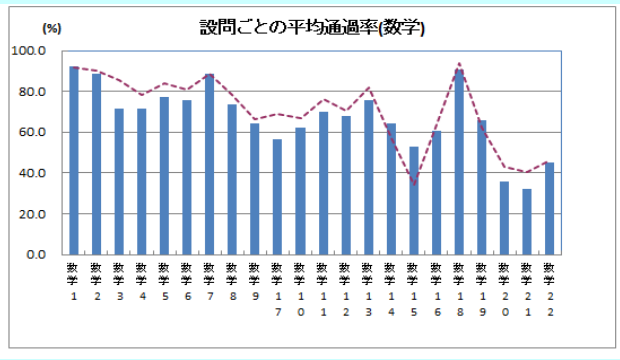
全国学力・学習状況調査 本年度正答率  
 A問題 本校 68.0% 全国 64.4% 県 64.6%  
 B問題 本校 44.8% 全国 41.6% 県 42.7%

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値 対全国比 100.0%

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



重点課題

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- 【課題1】「基礎・基本」定着状況調査
- ① 問題文を読んで、題意をつかみ、それを文字式に表すことに課題がある。(通過率56.6%)
  - ② 比例のグラフの特徴を説明することなど記述することに課題がある。(通過率32.1%)
- 【課題2】全国学力・学習状況調査
- ③ えられた資料から中央値を求めることに課題がある。(通過率28.4%)
  - ④ 数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解していない。(通過率43.3%)

- 【課題1】「基礎・基本」定着状況調査
- ① 文章問題を考えるときに、文章を読んで文字式、等式などを作ることを繰り返し練習したり、小テストをして正答率を調べ、正答率の低い問題を繰り返し学習して定着させていく。
  - ② 授業中の生徒の発表の場面で言葉や数学用語を使って説明させるようにしていく。
- 【課題2】全国学力・学習状況調査
- ③ 資料の活用の領域全体の通過率が低いので、授業の中で資料の活用の内容を再学習し、小テストで正答率を確認し、正答率の低い問題を繰り返し学習して定着させていく。
  - ④ 確率の意味を復習し、小テストで正答率を確認しながら定着させていく。

「基礎・基本」定着状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生 夏休み明けテスト	2年生 中間試験	2年生 基礎・基本不得意問題	2年生 期末試験	1年生 冬休み明けテスト	1年生 「基礎・基本」過去問	1年生 学年末試験
目標値	55.0%	60.0%	①60.0%②40.0%	60.0%	55.0%	70.0%	60.0%
実施後数値	68.0%						

全国学力・学習状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	3年生 夏休み明けテスト	3年生 中間試験	3年生 全国学力不得意問題	3年生 期末試験	2年生 冬休み明けテスト	2年生 「全国学力」過去問	2年生 学年末試験
目標値	55.0%	60.0%	③④	60.0%	55.0%	AB	60.0%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 44.5%, 県 50.2%)

対県比 88.6 %

学力定着実態調査 本年度正答率

本校 62.8%  
全国 66.0%

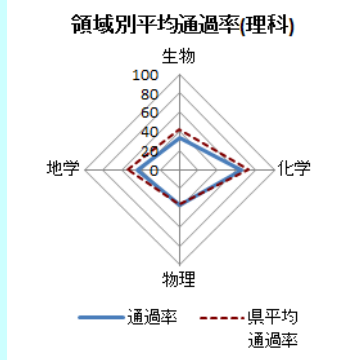
対全国比 95.2%

本年度の結果について

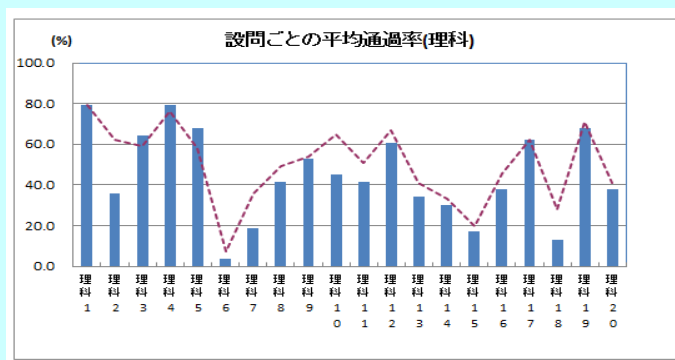
基礎基本定着状況調査において、通過率はタイプⅠは42.6%、タイプⅡは47.4%である。知識の定着に課題が見られる。

全国学力・学習状況調査において、「知識」に関する問題、「活用」に関する問題共に、全国平均より1.3%程度低い。とくに、科学的な思考・表現に関わる問題の正答率が全国平均より2.4%低いことから、細やかな理解と表現に課題があると考えられる。

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率

知識  
本校 62.5%  
全国 63.8%  
県 61.2%

活用  
本校 46.4%  
全国 48.8%  
県 48.7%

重点課題

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

- ①複数の解答を求める設問に対し、正しい解答を導き出すのに課題がある。(通過率3.8%)
- ②日常生活と関連づけて現象を記述で説明することに課題がある。(通過率17.0%, 無答率20.8%)

【課題2】全国学力・学習状況調査

- ③予備知識を用いて実験結果から多角的に考察し、細かなところまでていねいに答えることに課題がある。(正答率31.3%, 無答率0.0%)  
(選択式解答 自校49.2% 全国53.1%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

- ①繰り返し練習したり、小テストをし、班で問題について考え結果を検証し互いに意見を交流することで批判的な思考力の定着を図る。
- ②学習内容や実験から分かることをワークシートに明記し、評価問題で繰り返し復習を行うことによって、記述で説明することの定着を図る。

【課題2】全国学力・学習状況調査

- ③実験結果から考えられることをまとめ、文章として書く練習を行う。とくに、キーワードを使って書くことを意識させ、班やペアなどで確認し合う時間を持つ。

「基礎・基本」定着状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生 夏休み明けテスト	2年生 中間試験	2年生 基礎・基本不得意問題	2年生 期末試験	1年生 冬休み明けテスト	1年生 「基礎・基本」過去問	1年生 学年末試験
目標値	45.0%	50.0%	①40.0%②50.0%	60.0%	60.0%	70.0%	60.0%
実施後数値	40.0%						

全国学力・学習状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	3年生 選択式思考問題	1~3年生 中間試験	3年生 選択式思考問題	1~3年生 期末試験	3年生 実力テスト	2年生 選択式思考問題	2年生 学年末試験
目標値	55.0%	50.0%	60.0%	60.0%	45.0%	40.0%	50.0%
実施後数値							

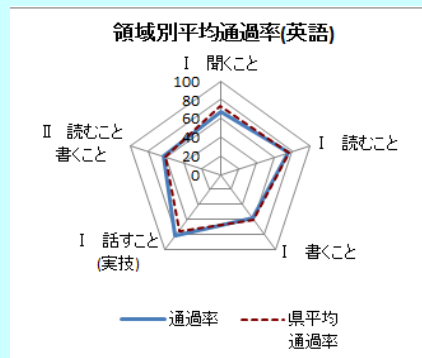
「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 68.2%, 県 68.2%)

対県比

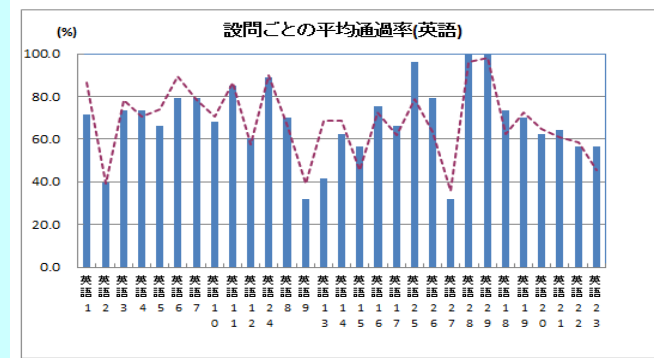
100.0%

本年度の結果について

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



【全体的な傾向】  
「基礎・基本」定着状況調査において、英語の通過率は68.2%となっている。英語を理解しようとする態度とそれに伴う理解する基本的な力については、理解したことを英文で表現する知識と技能が欠けている。

【タイプⅠ】  
通過率は69.4%となっている。コミュニケーションを取ろうとする態度は積極的であるが、一方では基礎的な英文構成が理解できていない。[設問9, 27より]

【タイプⅡ】  
通過率は63.8%となっている。英文を読み取る力については、理解した内容を表現する文章構成能力が欠けている。[設問22, 23]

重点課題

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- 【課題1】  
英文構成が理解できていないため、正しい英文を作れない。特に疑問詞を使用することに困難がある。(設問9: 通過率32.1%, 設問27: 通過率32.1%)
- 【課題2】  
文と文のつながりに注意して、一貫した文章を書くことができない。そのため、長文読解では内容を理解できているが、表現できない。(設問22: 通過率56.6%, 設問23: 通過率56.6%)

- 【課題1】  
並び替え問題を中心に、1年次の基本的な英文構成をする小テストを毎回行う。授業始めに「1年生の復習」の時間を設ける。
- 【課題2】  
既習の本文を使って、内容の並び替え問題や穴埋め問題を定期的に行う。その際、接続詞や代名詞の用法に注目させ、文中での用法理解を図る。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生 夏休み明けテスト	2年生 中間試験	2年生 基礎・基本不得意問題	2年生 期末試験	1年生 冬休み明けテスト	1年生 Pre-「基礎・基本」	1年生 学年末試験
目標値	50.0%	65.0%	55.0%	70.0%	65.0%	75.0%	70.0%
実施後数値	55.2%						

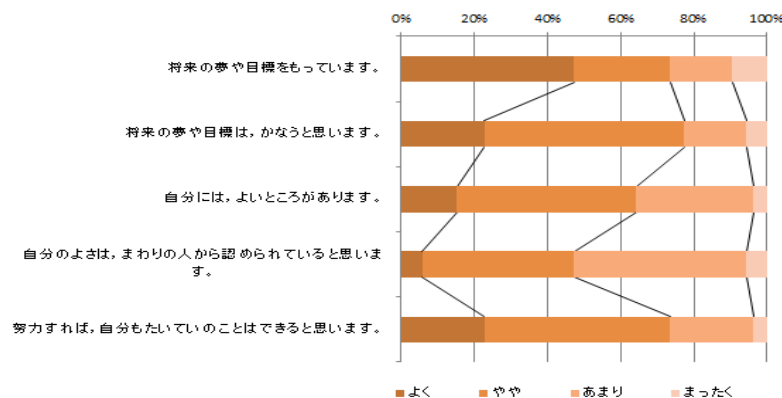
  

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生 夏休み明けテスト	2年生 中間試験	2年生 基礎・基本不得意問題	2年生 期末試験	1年生 冬休み明けテスト	1年生 Pre-「基礎・基本」	1年生 学年末試験
目標値	55.0%	65.0%	60.0%	70.0%	65.0%	75.0%	70.0%
実施後数値	47.4%						

# 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）

## （1）生活・学習

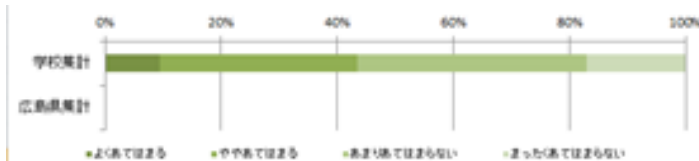
自己実現力・自己効力感



生徒の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のよさは、まわりの人からも認められていると思います。(現状値 47.2%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談としての個別面談を、2学期に2回以上実施する。</li> <li>「ふるさと学」の中心的カリキュラムである職場体験学習や先輩から学ぶ会の実施により、自己を振り返らせる。</li> <li>地域貢献活動等の実施により、自己肯定感を高める。</li> </ul>	2	60%	生徒アンケート	学期末		

## （2）教科

国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。



数学の授業では、解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科の授業では自分の考えを周りの人に説明したり発表したりしています。



英語の授業はよく分かります。



	生徒の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。(現状値：43.4%)	単元で使われている語句や慣用句の意味、重要漢字を辞書を使って調べる学習を毎單元入れる。また、家庭学習でも語句の意味を調べる学習を取り入れ、授業で活用していく。	2	60%	生徒アンケート	2,3学期末		
数学	数学の授業では、解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。(現状値：41.5%)	発表の場面で数学の教科書で使われている文章表記や数学用語を使って説明させるようにしていく。	2	50%	生徒アンケート	2学期末		
理科	理科の授業では自分の考えを周りの人に説明したり発表したりしています。(現状値：30.2%)	現象が起こる原因や実験を行う目的、結果について、考察を発表する時間を十分に確保し、自分の言葉で伝え、自身の理解を深める。	2	60%	生徒アンケート	2学期末		
英語	英語の授業はよく分かります。(現状値：67.9%)	文法や長文読解を焦点化して進める。本文まとめを課題にし、授業時間を問題練習に当て、定着を図る。自己評価カードをユニット別に集計し、理解度を意識させる。	2	85%	生徒アンケート (ユニット終了時に基礎・基本の生徒質問紙の英語の項目)	ユニット終了時		